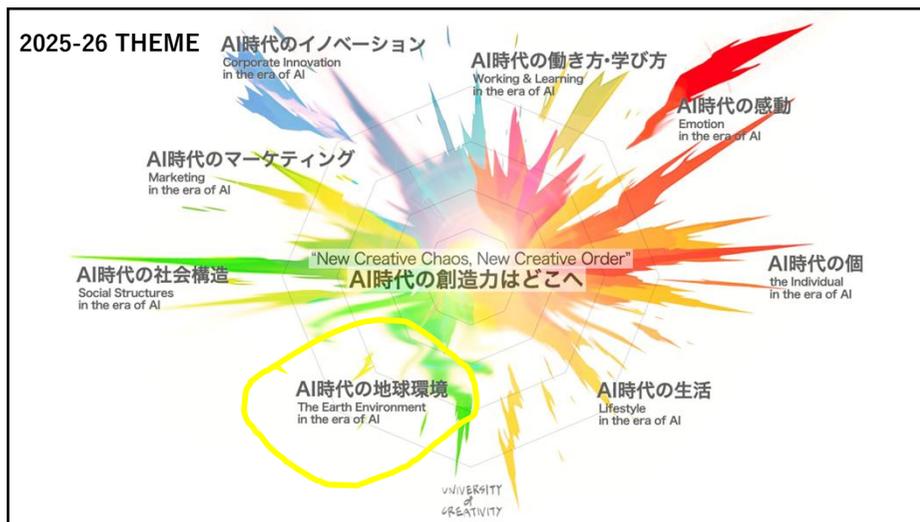




1



2



3



4

リジェネラティブとは？

「regenerate」の語源は、「re-(再び)」と「generate(生む)」に由来し、「再び生み出す、再生する」の意。現状維持を意味する「サステナブル」の先にある、人が全体システムの共進化に参加し、プラス(ネットポジティブ)を生み出す概念。

Regenerative:
人が自然の一部として全体システムの共進化に参加し、プラスを生み出す

Restorative:
人が自然のサブシステムの進化を補助する

Sustainable:
マイナスを0にする現状維持の活動

Green:
従来型実践よりは相対的に改善した状態 (一般的にはここから「エコ」と言われ始める)

Conventional Practice:
「違法一步手前」の従来型実践

Trajectory of Environmentally Responsible Design
Copyright © C. Crane, Regeneris, Ltd. All rights reserved. Regeneris 2000-2014. Contact: info@regenerisgroup.com for permission to use.

5

リジェネラティブ概念の広がり

従来は農を中心とした概念だったが近年、生物多様性、脱炭素、循環経済、社会包摂、文化再生、ウェルビーイングまで含む概念として広がっている。

↑ Agriculture, Nature

Regenerative Agriculture, Regenerative Ocean, Nature Positive, 生物多様性, Permaculture Design, Social Permaculture, Biophilic Design, SDGs, 脱炭素, Ecology, Sustainable Design, Circular Economy, 循環経済, System Design, Wellbeing, 社会包摂, Design Thinking, Diversity & Inclusion, Art Thinking, 文化再生, Logical Thinking, Social Design, Ethical, 社会包摂

人間中心・機械論的世界観 生命論的世界観

↓ Social/Business/Cultural

Regenerative Creativity

6

リジェネラティブ・クリエイティビティで目指すこと:「一石N鳥」

一石N鳥
(共進化/同時再生)

人も、地域も、社会も、環境も、共進化/同時再生することを目指す

同心円のイメージ

地球
国
地域・企業など
個人

Regeneration
相対・社会・人々のウェルビーイングを向上させる
イノベーションによる多角的価値の創出
Innovation by Co-creation
For Multiple values to improve
the Wellbeing of the Planet, Society and People

Political 政治, Environment 環境, Human 人, Culture 文化, Social 社会, Economical 経済

「win-winではなく、win-win-win」3つ以上の多元的価値の共創を目指す。リジェネレーションとは、コストや制約ではなく、新しい市場・雇用・イノベーションを生む「成長ドライバー」。(東京建物「Regenerative City Tokyo」)

7

リジェネラティブ・クリエイティビティとは？

うまれるをつくる

人と自然の生成力・創造性・テクノロジーを生かして
人、地域、社会、文化、環境を再生し、
「一石N鳥」を生むための方法論。

8



9

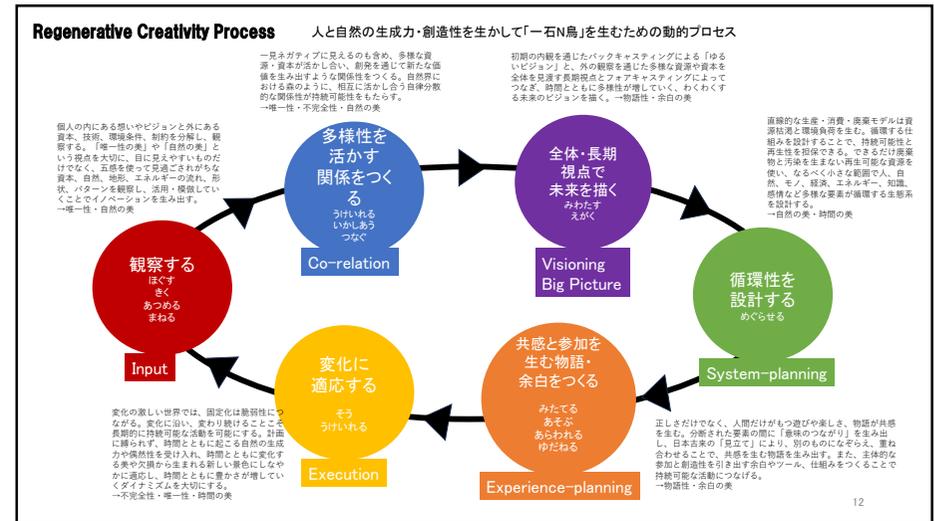


10

Regenerative Creativity 6つの原則 ver.1 人と自然の生成力・創造性を生かして人、地域、社会、文化、環境を再生し、「一石N鳥」を生むための原則。

原則	動詞	説明	美意識・マインドセット
1 観察する	ほくすきくあつめるまねる	個人の内にある想いやビジョンと外にある資源や資本、技術、環境条件、制約を分解し、「唯一性」や「自然の美」を大切に、見やすいものだけでなく、見過ごされがちな資本も含め、五感を使って観察する。自然の地形やエネルギーの流れ、形状、パターンを観察し、活用・模倣していくことでイノベーションを生み出す。	唯一性・自然の美
2 多様性を活かす関係をつくる	いかしあうつなぐ	一見ネガティブに見えるものも含め、多様な資源・資本が活かし合い、創発を通じて新たな価値を生み出すような関係性をつくる。自然界における森のように、相互に活かし合う自律分散的な関係性が持続可能性をもたらす。	唯一性・不完全性・自然の美
3 全体・長期視点で未来を描く	みわたすそうぞうするえがく	初期の内観を通じたバックキャストによる「ゆるいビジョン」と、外観を通じた多様な資源や資本全体を見渡す長期視点とフォキャストによってつなぎ、時間とともに多様性が増していく、わくわくする未来のビジョンを描く。一物語性・余白の美	物語性・余白の美
4 循環性を設計する	めぐらせる	できるだけ廃棄物と汚染を生まない再生可能な資源を使い、なるべく小さな範囲で人、モノ、エネルギー、知識、感情が循環する生態系を設計する。	自然の美・時間の美
5 共感と参加を生む物語をつくる	みたてるあそぶあらわれる	日本古来の「見立て」により、そこにあるものを別のものにぞらえたり、重ね合わせることで新たな意味や物語を生み出す。また多様な参加を生むための境界域や余白を大切に、主体的な創造性を引き出すためのツールや仕組み、体験をつくることで持続可能な活動につながる。	物語性・余白の美
6 変化に適応する	そううけいれる	計画に縛られず、時間とともに起こる自然の生成力や偶然性を受け入れ、時間とともに変化する美や欠損から生まれる新しい景色にすやかに適応し、時間とともに豊かさが増していくダイナミズムを大切にす。	不完全性・唯一性・時間の美

11



12

REGENERATIVE CREATIVITY

3つの美意識・マインドセット

6つの原則に基づいた創造を行う前提として大切な美意識・マインドセット

13

13

唯一性・自然の美

今、そこにしかない人や場の地形・歴史性、土着性、自然界の生物・鉱物の持つ形状やパターンを活かすなど、均一性よりも、唯一性・固有性を大切にする。

「シェフはつくりたいメニューを先に決めてから材料を選すが、コックはその勝手に入る旬な材料からメニューを考える」
—シェ・パニースのコックより

14

14

不完全性・時間の美

完全性を追求するのではなく、多様な人や素材、形態が混ざり合うことで生まれる調和や不揃い、経年変化、修復の痕跡を美として捉え、完璧さよりも、時間とともに豊かさが増すことを目指す。

「工芸は、リジェネラティブの“価値観”を、日用品のレベルまで下ろす技術である」中川政七商店

15

15

物語性・余白の美

正しさだけでない、共感を生む物語性と余白。分断された要素間に「意味のつながり」を生み出し、そこにあるもの差別のものになぞらえ、重ね合わせる日本古来の「見立て」と、人が能動的に参加したくなる「余白」を大切にする。

16

16

これまでとの違い

Not Regenerative	Regenerative
均一性	多様性
統一性	不揃い
汎用性	固有性
普遍性	土着性
新品性	時間多層性
完全性	不完全性
直線的	循環的
つつる	ざらざら
非場所性	場所性
効率性	非効率性
正しさ	わくわく
人工	自然
静的	動的
死んでいる	生きている

17